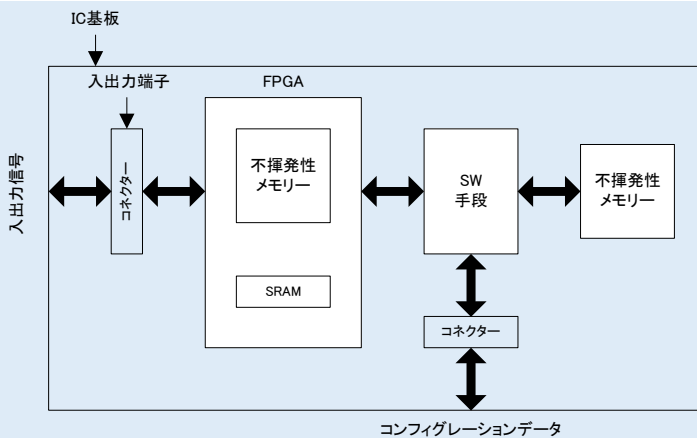


3種類のコンフィグレーション手段（方法）を切り替えることができるFPGA用IC基板です。

- ★FPGAのコンフィグレーションデータの秘匿性を保つことができます。
- ★製品用の基板としてそのまま使用することができるので、開発費を削減することができます。

発明の概略



左図のように基板外部よりコネクタを介してコンフィグレーションデータを書き込むときにSW手段を経由してFPGAの外部の不揮発性メモリー、FPGA内部の不揮発性メモリー、FPGA内部のSRAMへのコンフィグレーションデータの書き込みを切り替えることができる構造とする

発明の効果

- ★開発段階ではFPGA内部のSRAMまたはFPGA外部の不揮発性メモリーにコンフィグレーションデータを書き込み、開発完了時にFPGA内蔵の不揮発性メモリーにコンフィグレーションデータを書き込むことで製品に用いられるFPGAデータの秘匿性を確保できます。
- ★FPGA内部の不揮発性メモリーとFPGA外部の不揮発性メモリーで異なるコンフィグレーションデータを持つことによって同一の基板を別の製品に使うことができます。

セールスポイント・想定するライセンサー像

- ★製品用基板としてそのまま使用できるFPGA用IC基板のため、製品化を想定した開発に使用することができます。
- ★ライセンサー像：FPGAメーカー、FPGAを使った製品のメーカー、FPGA評価用基板メーカー、FPGAおよびFPGAを使った製品等の販売店、等

発明の名称	FPGA用IC基板		
特許番号	特許第6488683号	出願日	平成26年12月15日 (2014.12.15)
特許権者	メガシス(株)	製品化実績	あり
実施許諾	可	特許権譲渡	可
連絡先	メガシス株式会社 山梨県韮崎市富士見3丁目16-37 TEL : 0551-23-0575 E-mail : matsuzaki@megasys.co.jp 担当：松崎		